

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 27



大塩平八郎ゆかりの地
大阪市北区

「救民」の旗を掲げて 拳兵した奉行所与力

陽明学者で大坂町奉行与力の大塩平八郎は、救民のために拳兵した「大塩平八郎の乱」で有名です。1837（天保8）年2月19日、大塩は幕政批判の主旨の檄文を飛ばし、「救民」の旗を掲げて、私塾「洗心堂」に集う門弟20数名とともに、自邸に火を放ち、豪商が軒を並べる船場へと繰り出しました。途中で総勢300人ほどになりましたが、幕府勢と小競り合い程度の市街戦を繰り返したのみで、早々に四散してしまいます。

現存する唯一の遺構は 造幣局官舎内に

大塩平八郎の私塾「洗心洞跡」と「与力宅門」が造幣局官舎内にあります。与力宅門は東町奉行所配下の天満与力宅が軒を並べていたとのこと、この建物が現存する唯一のものとなっています（2000年に大改修されました）。官舎内にあるため、人通りもほとんどなく「江戸」に思いを馳せることができますよ（但し長居無用、大声禁止です）。



大阪市北区天満1丁目造幣局官舎内には洗心洞跡と与力宅門が残っている



大阪市北区末広町「成正寺」にある大塩平八郎の墓

Culture Navi かるちナービ

みなさんの支援に感激しながらの裁判

支援者で法廷の廊下は満杯

アンケート裁判も、1月27日ですでに8回の裁判が行われました。毎回、多くのお客さんが傍聴や支援に駆けつけ、法廷の廊下は200人近い人でいっぱいになっていることに感激しています。しかし、傍聴席には数十人しか入れないので、多くの人は廊下で待たされています。私たちは、傍聴者全員が裁判を傍聴できるよう、もっと広い法廷に変更することを要望していますが、裁判所側は聞き入れません。さらに、前回12月9日は、法廷内で原告席に座りきれない原告6人が傍聴席に座られました。

支援を力に たたかい続ける

間違ったことや不平等を正すための裁判所であるのに、していることが納得できないことも多く感じてきました。しかし、証人調べが始まる春頃には大法廷での裁判がやっと実現しそうです。そうなれば、駆けつけてくれた多くの方に裁判を傍聴してもらうことができます。今後は署名や運動をさらに大きくして支援の輪を広げることが、何にも増して重要になります。どんどん裁判の傍聴に来てください。みなさんの支援を力に、勝利に向けてたたかい続けます。より一層の支援をお願いいたします。



「スタンダップ」はシンガーソングライターのかわさきゆたかさんが作曲した「思想調査アンケート裁判」の応援歌です。

「思想調査アンケート」裁判
原告59人の決意
スタンダップ
No.16 粕谷 武志さん

心に響くひとこと

金銀多分積みおくは
よき士を牽へ
押しこめおくにひとし
豊臣 秀吉

「財産を必要以上にためこむのは、よい人材を牢屋に入れておくようなものだ」といいます。確かにお金は必要で有益なもの。有効に活用するためには一定額をためておくことも必要でしょう。2013年度の大企業（資本金10億円以上の約5000社）の内部留保総額は272.1兆円となっています。労働者の賃上げで内需拡大、経済活性化のために内部留保の取り崩しは、日本経済再生の決め手となる非常に有益な使い道。それもせずに必要以上にためておくことは、さらに景気を冷え込ませる行為といえます。



(映画の一場面)

「小さいうち」

戦争の足音が近づく昭和初期 赤い屋根の小さな家の出来事

原作は第143回直木賞を受賞した中島京子の小説。監督は「東京家族」に続いての山田洋次監督作品。時代は昭和初期。平井家は東京郊外の高台にある赤い三角屋根の小さい家。平井家にはおもちや会社の役員である主人と和服の似合う美しい妻の時子、男の子の3人家族でした。そこに女中として住み込んできたのは山形から上京してきたタキ。時代は軍国主義の色濃く、中国に戦線を広げていくなかで、企業や社会、地域が否応なく戦時体制に組み込まれていきます。ある日の平井家にやってきたのは板倉正治という会社の青年社員。青年が何度か平井家を訪れるうちに、タキはその青年に

対する時子の心が揺れていることに気がきます。戦争の進行とともに2人の関係も…。

映画は戦後60年が経って、タキが亡くなるところから始まります。タキは女中をしていた平井家での出来事を大学ノートに書き綴っていました。そのノートを手にしたのはタキの親戚の青年。そこにつづられていたのは許されぬ恋愛模様とその裏に秘められた意外な真実でした。秘められた恋愛の一方で、戦争のシーンが次々に戦時に染まっていますが、日常生活に映し出されています。時子を演じる松たか子の和服がとてきれいで素敵。上映時間は136分。

それは私の関心事ではない
キリストだって誰からも
好かれていたわけではないのだから
ジョゼ・モウリーニョ（プロサッカー監督）

テレビ番組で司会者から「今日の放送であなたのことを好きになった人は多いと思う」と言われた時のコメント。現在世界最高の監督の一人であるモウリーニョ。非常に個性の強い人物で歯に衣を着せぬ発言はしばしば物議を醸し、西洋では特に批判が起こりそうなこの発言もとても彼らしい。彼の下でプレーした選手たちの多くからは強い支持を得ているのも事実で、自分に耳目を集め、選手にサッカーに集中しやすい環境を作ろうとしているのかもしれない。